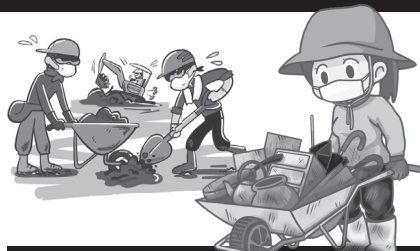


9期28年の経験で、「安心できる地方と日本」を創っていきます。

今を守る。



乗り越えるべき課題

いま我が国が乗り越えなければならない課題が多くあります。その根底には現役世代の減少という人口構造の変化があります。この課題に正面から向き合い、多くの皆様のご意見を伺いながら、さまざまな具体策を講じて乗り越えていく決意です。

今こそ、格段の防災対策

能登半島で被災された皆様には、全力で支援し一刻も早い復興を目指します。支援にかけつけた多くのボランティアの力と想いを、防災力に生かさなくてはなりません。地震、台風、ゲリラ豪雨など発生は避けられませんが、被害が軽減するよう、現場の要望を聞き、技術開発を進め、具体的な対策を講じていきます。

新技術で「地方を守る」

東京一極集中が見直されています。スマート技術の活用で農林水産業の振興や地域経済の活性化による雇用の創出などローカル・イノベーションを推進します。例えば、次世代インターネット技術は地域間の情報格差をなくし、地方への企業進出の可能性もあります。デジタルと地方創生の組み合わせを活かし、地方を守る方法の具体化を進めます。

未来を拓く。



誰もが活躍できる社会実現に向けて

自らの政治家としてのテーマである「誰もが活躍できる社会」の実現をめざします。幸せを実感できない子ども達、ご高齢の皆さん、障がいを持った方々、様々な生きづらさを抱える人々すべてが、新しい医療技術、ロボティクス技術の支援を活かしながら、生き生きと暮らせる社会を構築します。

課題解決のための新しい技術で強い日本を

新しい技術 AI、ロボティクス、自動運転、量子技術、DXなど人を代替するテクノロジーは日進月歩進化しています。これらを徹底利用し社会を維持し労働生産性を引き上げ、人口が減少しても成長できる国、未来に希望の持てる強い日本を、皆様とともに創っていきます。

子育てを、後押しする社会づくり

少子化の克服が、日本社会の根本課題です。子育てをいかに社会がサポートできるかが問われています。働き方の見直しも含め、様々な方法や制度からサポートする度合いをさらに高めます。



プロフィール

昭和39年松阪市生まれ
平成8年10月衆議院議員初当選以来9期当選。
【現職を含む経歴】
厚生労働大臣／働き方改革担当大臣／総務副大臣／厚生労働大臣政務官／文部科学大臣政務官／自民党政務調査会会長代行／自民党三重県支部連合会会長／裁判官訴追委員会委員長／情報監視審査会会長

自民党

田村のりひさ

59歳